



中央大学法科大学院より 136名が合格 司法試験合格発表

法務省にて9月6日午後4時、平成28年司法試験の最終合格者が発表され、中大法科大学院は136名の合格者を輩出しました。

合格者の皆さんに対して、心からお祝いを申し上げ、今後いっそうのご活躍をお祈りいたします。



中央大学文学部主催シンポジウム 「アートとドラマから見る韓国」 文化の越境がもたらす新しい日韓関係 11月12日 東京・中大駿河台記念館

中央大学文学部では11月12日（土）に公開シンポジウムを開催します。

テーマは「アートとドラマから見る韓国」。韓流ブーム以来ぐっと身近になった韓国の現代文化を、二つのジャンルから読み解こうというもので、世界的に著名なアーティストのジョン・ヨンドウ氏をお招きし、徐京植氏（作家・東京経済大学教授）と対談してもらいます。

そのほか、著書『韓流の社会学』で知られる李香鎮氏（立教大学教授）と、テレビドラマ研究者として幅広い活躍をする宇佐美毅氏（中央大学文学部教授）が、韓流と日本文化の関係についてそれぞれ報告を行います。

このシンポジウムは2016年度文学部プロジェクト科目「アジア共同体を考える——共に生きるための15のヒント」の関連企画で、人々の心をつなぐ文化の力について再検討することを目的としています。

日時・場所

2016年11月12日（土）午後1時～5時30分、中央大学駿河台記念館370号室。予約不要、入場無料、通訳付き。

プログラム

第I部（午後1時開始）韓国現代アートの世界

「『風の絵師』申潤福（シン・ユンボク）から韓国現代アートのスーパースター鄭然斗（ジョン・ヨンドウ）まで」（徐京植、ジョン・ヨンドウ）

第II部（午後3時30分開始）韓流は何をもたらしたか——2016年から問い直すドラマの可能性

「女性の観点から考える韓流サブカルチャー論：第3段階への進化」（李香鎮）

「号泣する準備はできたのか——日本における韓国ドラマ受容」（宇佐美毅）

〈お問い合わせ〉中大文学部事務室（電話042-674-3711）